

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
 長岡公務員・情報ビジネス専門学校
 自己点検・評価委員会
 「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、平成 30 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者

磯野 信也 氏 株式会社事業創造サポート 代表取締役

阿部 正喜 氏 株式会社第一印刷 常務取締役

- ・本校卒業生

栗原 達勇 氏

- ・本校校長

清水 優作 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

- ・本校校長の指名する者

山本 秀一郎 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 副校長

小池 利春 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 就職相談室長

山口 昌一 学校法人新潟総合学院 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 教務部長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 教育理念・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校創立から目標等の一貫した指導が評価できる。 ・激変する社会へ対応できる人材の育成を期待する。
基準 2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間の連携、教務と事務局間の連携を密にとって運営してもらいたい。 ・災害時等の学生の安全管理を今以上に意識して欲しい（避難訓練のあり方や安全確認の方法なども再検討）。
基準 3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・IT、ビジネスマナー等については十分な知識が身に付いている。より実務に沿った内容を検討していくことで、企業のニーズに合った学生を輩出して欲しい。 ・コミュニケーション能力の向上を図る授業や実習が今以上にないと良い。
基準 4 教育成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資格の取得が十分に成されているが、より実務に則した内容が更に増えることが望ましい。 ・幅広く学んでおり事務職に限らず、様々な職種で活躍できる人材を育成していると思われる。
基準 5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学生支援機構、NSG奨学金等と言った奨学金での支援と、

	<p>学校独自の学費減免制度の 2 本建で学生支援を行なっている点は、高く評価したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動における学生支援も評価できる。
基準 6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室や、教室は十分である。またタブレットを活用できる環境が整っており今後の有効活用が期待できる。 ・学習環境とその有効活用が重要。
基準 7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識が明確な学生が多い学科と、意識の低い学生の多い学科に、差があるように感じられる。 ・座学が中心になりがちな学科も、今以上にインターンシップなどを充実させ社会性を身に付けて欲しい。
基準 8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・本学は、NSGグループの専門学校群の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準 9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス社会で活躍できる人材を育成する学校であり、法令等の遵守は当然である。
基準 10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点は評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼による各種ポスター等の制作など、可能な範囲ではあるが、積極的に参加していることは評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根づいた学校と評価されている。 ・今後も、常に時代のニーズに応えられる人材を輩出していただきたい。 ・社会の変化に合わせた指導を継続して行ってほしい。

以上